

平成21年12月11日

教育警察常任委員会資料

所管事項報告

- 犯罪抑止対策〈重点調査〉
 - * 犯罪情勢 ----- 1頁 【資料1】
 - * 子ども・女性を犯罪の被害から
守るための取組み状況について ----- 2頁 【資料2】

- 交通安全対策〈重点調査〉 ----- 3頁 【資料3】
 - * 交通事故の発生状況
 - * シートベルト着用推進対策

- その他、報告
 - * 第2回自動車運転免許証自主返納研究会
の結果について

三重県警察本部

犯 罪 情 勢

(平成21年10月末現在)

1 刑法犯の推移（過去6年）

	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年	前年同期比		
							H20.1-10	H21.1-10	増減
認知件数	42,587	38,455	34,457	28,103	25,964	25,348	21,154	21,886	+732
検挙件数	8,361	8,896	9,502	11,233	8,164	6,653	5,748	5,110	+638
検挙人員	4,338	4,529	4,390	4,189	3,890	3,545	2,891	2,834	+57
検挙率	19.6	23.1	27.6	40.0	31.4	26.2	27.2	23.3	-3.9p

2 主要犯罪の状況

(1) 重要犯罪

	認知件数	検挙件数	検挙人員	検挙率
平成20年中	174	105	82	60.3%
平成21年1～10月	142	72	61	50.7%
平成20年1～10月	155	91	70	58.7%
増減数	-13	-19	-9	-8.0p
増減率	-8.4%	-20.9%	-12.9%	

○ 重要犯罪とは殺人・強盗・強姦・放火・略取誘拐・強制わいせつをいう。

(2) 匿名性の高い知能犯罪

	振り込み詐欺		オークション詐欺		合 計	
	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額	認知件数	被害金額
平成20年中	323	約3億6,400万円	91	約700万円	414	約3億7,100万円
平成21年1～10月	104	約7,490万円	44	約240万円	148	約7,730万円
平成20年1～10月	285	約3億2,640万円	85	約580万円	370	約3億3,220万円
増減数	-181	-約2億5,150万円	-41	-約340万	-222	-約2億5,490万円
増減率	-63.5%	-77.1%	-48.2%	-58.6%	-60%	-76.7%

○ 振り込み詐欺とはオレオレ詐欺、架空請求詐欺、融資保証金詐欺、還付金等詐欺を総称したものをいう。

3 組織犯罪の状況

(1) 暴力団犯罪

	検 挙 人 員		
	うち刑法犯	うち特別法犯	
平成20年中	222	165	57
平成21年1～10月	195	145	50
平成20年1～10月	173	127	46
増減数	+22	+18	+4
増減率	+12.7%	+14.2%	+8.7%

○ 県内の暴力団勢力は、43団体・1,170人（平成21年6月末現在）

(2) 銃器・薬物犯罪

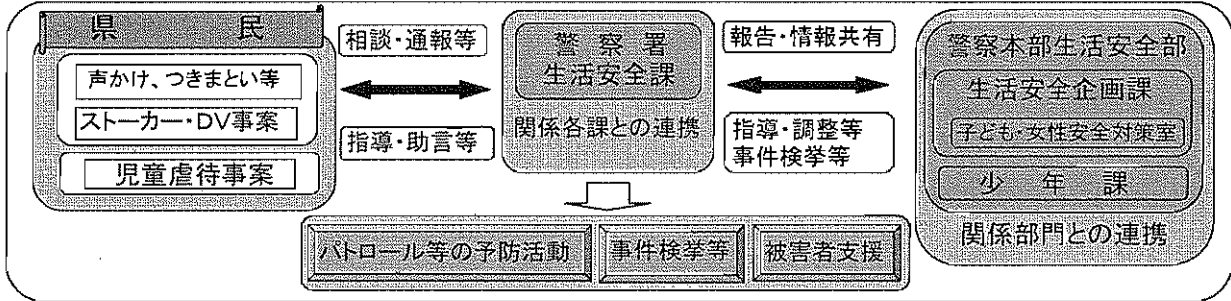
	けん銃押収状況		薬物犯罪		
	押収数	うち暴力団関係	検挙人員	うち暴力団	うち外国人
平成20年中	14	1	132	53	8
平成21年1～10月	9	2	121	50	15
平成20年1～10月	14	1	111	41	5
増減数	-5	+1	+10	+9	+10
増減率	—	—	+9.0%	+22.0%	+200.0%

4 来日外国人犯罪

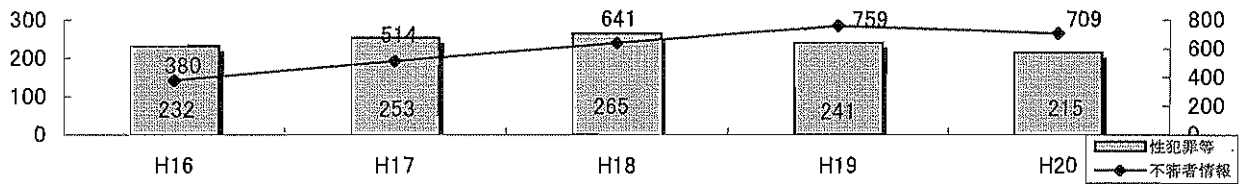
	検挙件数	うち刑法犯		検挙人員	うち刑法犯	
		うち特別法犯	うち特別法犯			
平成20年中	704	608	96	233	162	71
平成21年1～10月	486	406	80	199	146	53
平成20年1～10月	656	580	76	194	138	56
増減数	-170	-174	+4	+5	+8	-3
増減率	-25.9%	-30.0%	+5.3%	+2.6%	+5.8%	-5.4%

子ども・女性を犯罪の被害から守るための取組み状況について

1 子ども・女性を犯罪の被害から守るための対応



2 性犯罪等及び不審者情報の認知件数の推移



3 性犯罪等の認知件数(21.10末現在)

	強 姦	強制わいせつ	誘 拐	公然わいせつ	卑わい言動等	痴 漢	のぞき等	計
認知件数	11	69	1	23	24	27	10	165
前年同期比	-7	-13	0	-7	-5	4	-2	-30

4 不審者情報の認知件数(21.10末現在)

	子ども	女性	計
認知件数	270	270	540
前年同期比	-57	-11	-68

※ 不審者情報は、子ども、女性に対する声かけ、つきまとい等の事案をいう。

5 予防対策の推進

(1) 街頭活動等の強化

- 通勤・通学時間帯に重点を置いたパトロール活動の強化
- 教育委員会や学校、保護者、自主防犯活動団体等と連携した子どもの見守り活動の実施
- 鉄道警察隊による列車警乗パトロール等の実施

(2) 被害防止に向けての啓発

- 幼稚園、小学校等における誘拐防止教室等の開催
- 高校や大学、病院や事業所等における護身術教室、防犯講話等の実施
- 交番・駐在所広報紙による被害防止広報の実施
- 列車内での被害防止アナウンスの実施

(3) 不審者情報等の提供

- 携帯電話メールでの不審者情報の配信
- 県警ホームページに不審者情報の掲示
- ファックスネットワークによる学校、事業所、自主防犯団体等への不審者情報等の配信

6 「子ども・女性安全対策室」による先制・予防的な活動の推進

「子ども・女性安全対策室」において、性犯罪等の前兆とみられる声かけ、つきまといなどの事案について行為者を特定し、検挙又は指導・警告措置を講じる先制・予防的活動を専門的・継続的に実施

【対策室による警告・検挙状況(平成21年4月～10月)】

	公然わいせつ	迷惑防止条例		強 姦	声かけ	つきまとい	のぞき見等	計
		ひわい言動等	痴 漢					
警告	2		1		3	7	5	18
検 挙	5	3	2	1				11
計	7	3	3	1	3	7	5	29

交通事故の発生状況とシートベルト着用推進対策

1 交通事故発生状況

(1) 平成21年10月末

	総件数	人身事故件数		死者数	負傷者数	物損事故件数	
			死亡事故				
平成21年	49,551	9,358	80	83	12,518	40,193	
平成20年	50,974	9,874	86	87	12,966	41,100	
増減	数	-1,423	- 516	- 6	- 4	- 448	- 907
	率	- 2.8	- 5.2	- 7.0	- 4.6	- 3.5	- 2.2

※ 人口10万人当たりの死者数順位：14位

(2) 月別交通事故死者数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
本年	14	6	7	9	12	3	3	11	10	8			83
平成20年	11	4	8	3	5	7	8	15	10	16	8	15	110
平成19年	9	8	8	9	6	10	9	11	10	11	14	13	118

〔交通死亡事故の特徴〕

- ① 高齢者の死者が増加 ⇒ 83人中 46人：55%(前年対比 +3人)
- ② 交通弱者(新卒・能率弱者)の死者が多い ⇒ 83人中 37人：45%(前年対比 +2人)
- ③ 悪質危険違反による死亡事故が多い ⇒ 74件中 21件：28%(前年対比 -5件)
- ※ 悪質危険違反(飲酒、歩行者妨害、信号無視、最高速度、一時不停止、通行区分)
- ④ シートベルトの非着用死者が多い ⇒ 34人中 21人：62%(前年対比 +6%)

2 四輪乗車中死者のシートベルト着用状況

(1) 三重県

区分	H16	H17	H18	H19	H20	H21.10
四輪乗車中死者	93	75	71	48	37	34
非着用者数	42	48	40	24	20	21
運転中	37	40	28	21	19	17
同乗	5	8	12	3	1	4
着用率	54.8%	36.0%	43.7%	50.0%	45.9%	38.2%

※ 四輪乗車中死者のシートベルト着用率は38.2%と低い。

(2) 全国

区分	H16	H17	H18	H19	H20	H21.10
四輪乗車中死者	2918	2722	2359	2013	1710	1302
非着用者数	1592	1410	1210	1001	816	581
運転中	1157	1031	898	724	605	426
同乗	428	365	302	270	209	152
着用率	45.4%	48.2%	48.7%	50.3%	52.3%	55.4%

※ 全国的には、四輪乗車中死者のシートベルト着用率は50%を超えている。

3 シートベルト着用率調査結果

区 分	高 速 道 路											
	H16秋		H17秋		H18秋		H19秋		H20秋		H21秋	
	三重	全国	三重	全国	三重	全国	三重	全国	三重	全国	三重	全国
運転席	93.3	97.3	93	97.7	97	98.2	97.8	98.5	99.3	99	99.1	99.2
助手席	84.6	91.3	84.6	92.1	92.5	93	90.3	93.5	96	96.4	96	96.9
後部席	7.6	11.5	6.4	9.8	9.6	12.7	9.6	13.5	49.2	62.5	55.6	63.4

区 分	一 般 道 路											
	H16秋		H17秋		H18秋		H19秋		H20秋		H21秋	
	三重	全国	三重	全国	三重	全国	三重	全国	三重	全国	三重	全国
運転席	88.5	90.7	90.7	92.4	91.5	93.8	92.5	95	93.6	95.9	93.9	96.6
助手席	78.6	78.5	83.1	80.3	85.7	83.4	89.3	86.3	88.6	89.2	88.8	90.8
後部席	5.6	7.5	6.9	8.1	10.8	7.5	13.5	8.8	28.2	30.8	44.5	33.5

備考1 シートベルトの着用状況調査については、警察とJAFによる合同調査を実施している。

- 高速道路における運転者の着用率は99%を超えているが、後部席については約56%と低調である。
- 一般道路における運転者の着用率は93.9%で、全国平均と比較して2.7ポイント低い。

4 シートベルト着用推進対策

(1) 街頭指導活動

- シートベルト取締りの推進
- 街頭における指導・啓発活動の推進

(2) 交通安全教育

- シートベルト非着用の危険性を理解していただくための講習
- シートベルトコンビンサーや衝突実験映像を用いた参加・体験型の交通安全教育の推進
- チャイルドシート着用推進モデル幼稚園の指定

(3) 広報・啓発活動

- 後部座席シートベルト着用啓発タグの作成・配布
- 街頭キャンペーン